⑶　調達内容の調整に必要な能力を有すると認められる者。
⑷　本公示の日から開札日までの間に、本会から競争入札参加停止措置を受けている日が含まれていないこと。
3　指名されるために必要な要件
⑴　本公示に示した業務の類似業務の取扱に実績を有する者。
⑵　著しい経営状況の悪化及び信用度の低下がないと認められる者。
4　入札書及び提出書類の提出場所等
⑴　入札書及び提出書類の提出場所、契約条項を示す場所、入札説明書の交付場所及び問い合わせ先　〒530―0004 大阪府大阪市北区堂島浜１－４－16　アクア堂島ＮＢＦタワー19階　日本中央競馬会　関西広報室　ＴＥＬ06―7636―2860
⑵　入札説明会の日時及び場所　平成28年７月27日16時30分　日本中央競馬会　関西広報室会議室
⑶　入札説明書の交付方法　入札説明会の際、直接交付する。
⑷　入札、開札及び提案書類提出の日時及び場所　平成28年９月８日10時00分　日本中央競馬会　関西広報室会議室
5　その他
⑴　入札及び契約手続において使用する言語及び通貨　日本語及び日本国通貨
⑵　入札保証金及び契約保証金　免除
⑶　入札の無効　本公示に示した競争参加資格に必要な資格のない者の提示した入札書及び入札条件に違反した入札書は無効とする。また、落札者が落札決定から契約締結までの期間に競争入札参加停止措置を受けた場合は、本入札に関する一切を無効とする。
⑷　契約書作成の要否　要
⑸　落札者の決定方法　入札説明書による。なお、入札書に記載する金額は、消費税及び地方消費税を含むものとする。
⑹　本入札に参加する者は予め「日本中央競馬会物品等入札心得」を熟覧し、承諾したうえで入札しなければならない。
6　Summary
⑴　Official in charge of contract : Kazuyuki Sakata, Manager of Publicity Contract Section of Public Relations Department of Japan Racing Association.
⑵　Classification of the products to be procured : 73
⑶　Nature and Quantity of the products to be purchased : Outdoor advertisements.
⑷　Fulfillment period : As shown in the tender documentation.
⑸　Qualifications for participating in the tendering procedures : A
⑹　Time limit of tender : By 10 : 00　8 September 2016.
⑺　Contact point for the notice : Kansai Media and Publicity Division of Publicity Relations Department of Japan Racing Association Aqua Dojima NBF Tower 19F 1―4―16　Dojimahama, Kita-ku, Osakashi, Osaka 530―0004 Japan Tel 06―7636―2860

## 公募型プロポーザル方式に係る手続開始の公示（建築のためのサービスその他の技術的サービス（建設工事を含む））

次のとおり技術提案書の提出を要請します。
本公示に記載の工事は、技術資料を共通化できる２件の工事を対象に、一括して公示し、審査を実施する試行工事である。本件の参加にあたっては、電子入札システムにおいて２件の工事が別々に案件登録されているので、複数の工事に参加を希望する場合は、参加を希望する工事毎に申請書の提出が必要である。
平成 28 年７月 13 日
支出負担行為担当官
九州地方整備局長　小平田浩司
◎調達機関番号　020　◎所在地番号　40
1　工事概要
⑴　品目分類番号　41
⑵　工事名
①　熊本57号災害復旧　二重峠トンネル（阿蘇工区）工事
②　熊本57号災害復旧　二重峠トンネル（大津工区）工事
⑶　工事場所　①②熊本県阿蘇市車帰～熊本県菊池郡大津町古城地内
⑷　工事内容
１）①　設計（以下、「技術協力業務」という）
ⓐ　設計延長　Ｌ＝1,650m、トンネル詳細設計１式
ⓑ　予定工期　契約締結の翌日から交渉成立予定日（平成29年２月15日）までを予定している
ⓒ　本技術協力業務について、主たる部分の再委託は認めない。
１）②　設計（以下、「技術協力業務」という）
ⓐ　設計延長　Ｌ＝2,000m、トンネル詳細設計１式
ⓑ　予定工期　契約締結の翌日から交渉成立予定日（平成29年２月15日）までを予定している
ⓒ　本技術協力業務について、主たる部分の再委託は認めない。
２）①　施工（以下、「建設工事」という）
工事内容（本坑）延長：Ｌ＝1,650m、幅員：Ｗ＝12m（避難坑）延長：Ｌ＝1,650m、幅員：Ｗ＝4.7m
２）②　施工（以下、「建設工事」という）
工事内容（本坑）延長：Ｌ＝2,000m、幅員：Ｗ＝12m（避難坑）延長：Ｌ＝2,000m、幅員：Ｗ＝4.7m
⑸　使用する主要な資機材
①　コンクリート：約６万㎥，鋼材：約2,400ｔ
②　コンクリート：約６万㎥，鋼材：約1,800ｔ
⑹　本工事は、公共工事の品質確保の促進に関する法律第18条に規定する「技術提案の審査及び価格等の交渉による方式」（以下、「技術提案・交渉方式」という。）の技術協力・施工タイプの対象工事であり、優先交渉権者として選定された者と技術協力業務の契約を締結した後、発注者と優先交渉権者との間で締結される基本協定に基づき価格等の交渉を実施する。交渉が成立した場合は、別途発注する工事の随意契約相手方として特定する。
⑺　本工事は、競争参加資格確認申請を行った者のうち、競争参加資格が確認された者に対して技術提案書の提出要請を行い、技術提案書の提出を行った者と技術提案書の内容に係る技術対話を実施し、技術評価点が最も高い者を優先交渉権者として選定する。なお、優先交渉権者と価格交渉が成立しなかった場合は、次順位の者と同様の手続きを行い、以降交渉が成立するまで次順位以降の者と同様の手続きを行う。
⑻　参考額　本建設工事に先立って実施する技術協力業務の規模は①②ともに500万円程度（税込み）を想定している。また、本建設工事の規模は①は110億円程度（税込み）、②は105億円程度（税込み）を想定している。
⑼　本工事は、競争参加資格があると認められた者のうち、一次審査の審査評価点合計が上位の者を選抜し、指名を行う段階選抜方式の試行工事である。
⑽　本工事においては、資料の提出及び入札等を電子入札システムにより行う。なお、紙入札の申請に関しては、九州地方整備局総務部契約課に承諾願を提出して行うものとする。
⑾　本工事は、入札説明書等を電子入札システムからダウンロードする適用工事である。
⑿　本工事は、発注者が新たな積算方式として「施工パッケージ型積算方式」の試行を行う工事である。
⒀　本工事は、施工にあたり効率的で確実な事業執行を図るため、別途委託している業務において施工の状況を随時管理する工事である。
⒁　本工事は、「共通仮設費（率分）のうち営繕費」及び「現場管理費のうち労務管理費」の下記に示す費用（以下「実績変更対象費」という。）について、工事実施にあたって不足する技術者や技能者を広域的に確保せざるを得ない場合も考えられることから、契約締結後、労働者確保に要する方策に変更が生じ、土木工事標準積算基準書の金額相当では適正な工事の実施が困難になった場合は、実績変更対象費の支出実績を踏まえて最終精算変更時点で設計変更する試行工事である。
営繕費：労働者送迎費、宿泊費、借上費（宿泊費、借上費については労働者確保に係るものに限る。）
労務管理費：募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用